

新型コロナ対策の拡充、家庭ゴミへの指定袋導入（ゴミ処理 有料化の第1歩）…重大局面

市長に直接、意見を届けよう

新型コロナ対策は、今後もPCR検査数を増やさず、医療体制の強化も、インフルエンザ対策も、高齢者へのクラスター対策も「ない」…異常事態です。

家庭ゴミへの指定袋導入は、多くの市民が知らない間に進んでおり、

ゴミ処理有料化への第1歩ともいわれています。

実際、ゴミ処理有料化は2028年までの「廃棄物処理基本計画」に位置付けられています。

市長へ直接意見を届けるチャンスです。ぜひ、ご参加ください。

《市長タウンミーティング》

10月18日（日）

■10～11時半

おおたかの森センタホール

■13時半～15時

南流山センター大ホール

※参加の場合マスク必着。南流山センターでの報告には、南流山地区の小・中学校整備に関する状況報告があります。

議会傍聴、議員への声掛けを

【議会最終日】

10月6日（火）13時開会

陳情の採決は17時半頃を予定

コロナ克服に向け、「事業継続への支援制度創設を求める陳情書（裏面参照）」が委員会で可決しました。

また、国の定額給付金から漏れた『新生児給付金の創設』を議会では3会派・過半数の議員が求めています。

議会最終日に向けて、党市議団はさらなる取り組みを提起します。ぜひ傍聴にお越しください。

また陳情可決へ、議員への声掛けを広げてください。



自助・共助ではなく、感染症対策も、ゴミ行政も、市民・事業者・行政の「協力・協働」こそ不可欠です！

流山民報（9月号外）
連絡先：日本共産党流山市議団
（小田桐 090-8567-8858）